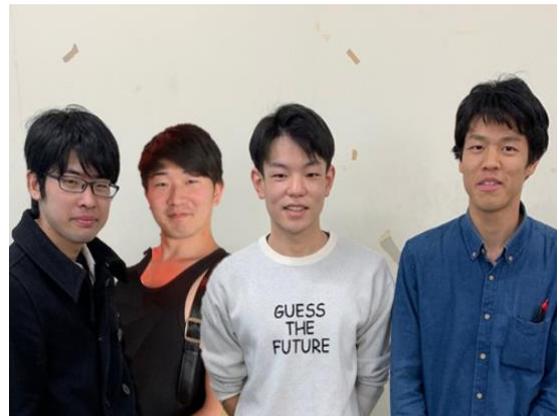


### 学生代表頑張ります！

改めまして次期学生代表になりました宮田です。今回は私が学生代表になった際の目標を二つお話しします。まず一つ目は全体ゼミ充実度の向上です。やはり研究室は研究、ゼミが最重要だと思うので、全体ゼミをさらに充実したものにしたいと考えています。ゼミに臨む気持ちが変わると研究も進みますよね！そして全員が一位を目指して発表するようになるとワクワクしませんか？今後ゼミ係と協力して全体ゼミをより良くできるように考えていきたいと思えます。二つ目は風通しの良い雰囲気作りです。現在たくさんの係が生まれ、確実に快適な研究室へと進化していますが、ご存知の通り来年度のM2は4人しかいません。そこで来年以降もっと快適な研究室にするには来年のM1, B4の皆さんの協力が必要となります。そこで誰もが発言しやすい環境、関係性を築いていきたいと考えています。最後になりますが、学生代表として皆さんの研究室活動が活発になるよう精一杯頑張りますので、ご協力よろしくお願いします！



執筆:宮田 竜輔(新・学生代表)

### ゼミ集計結果

10月30日～11月20日に行われた全体ゼミでの質問回数を集計しています。

例)氏名	上記期間中の回数(累計)		
吉田	9回(21回)	江口	7回(12回)
添島	7回(20回)	寺西	7回(10回)
村上玲	7回(19回)	坂口	3回(10回)
宮川	3回(5回)	宮田	3回(8回)
鮎川	2回(7回)	窪園	2回(7回)
黒川	2回(4回)	古賀	2回(7回)
築地	2回(2回)	深見	2回(13回)
山下	2回(3回)	綾部	1回(3回)
安藤	1回(5回)	坂上	1回(4回)
高柳	1回(6回)	村上綾	1回(4回)
大下	0回(3回)	城	0回(3回)
田中	0回(6回)	徳丸	0回(4回)
渚田	0回(3回)	山口	0回(3回)
山田	0回(2回)		

### 12月の予定

全体ゼミは、基本的にCOM室で13時開始になります。

ゼミの予定は急遽変更になることもあるので、各自確認をお願いします。

4日(金) Bグループ<オンライン>  
11日(金) Cグループ<COM室>  
18日(金) Dグループ<COM室>

全体ゼミ詳細は[コチラ](#)



## 対談「ぷよぷよAIへの取り組み」



教員の山口です。こんにちは。「研究への取り組み」をテーマに山口研学生と対談してみました。今回はぷよぷよAIの研究をしていますM2の添島さんから(以下敬称略)との対談とそれに対する山口のコメントです。

### 【対談】

**山口:** 修了までにまだ半年ありますが、研究を振り返ってどうでしたでしょうか？**添島:** 振り返ってみると全くうまくいかなかった。**山口:** あらあら、頑張ってるし、結果も出ていると思いますよ？**添島:** 人工

知能は万能で学習すればなんでもできると思っていた。でも実際やってみると動かない。**鮎川:** このざまという感じ…。**山口:** なるほど。人工知能に夢を見すぎてた、ですかね。山口の癖でもあるのですが、その方法では無理かなと思っていても学生に言わない。実際、鮎川さんの電動義手は学習できないかなと思ってたけど、鮎川さんは電動義手の学習に成功した。**鮎川:** ML-Agentがすごかった。**山口:** すごかったね。**添島:** 3年あれば最強のぷよぷよができると思っていた。最初に思っていた完成系の10%位。人類を倒せなかった。**山口:** 「人類討伐」は最初の自己紹介の時に言ってましたね。かなり本気だったんですね。すばらしい目標の高さです。**添島:** 結局、ハードウェア化したり、従来のぷよぷよAI (Mayah) をベースにいろんなAIを混ぜ込んでいく方向が、最強への道のりかなと思う。けど研究というフォーマットが邪魔をする。**山口:** 研究ですので新規性(従来のぷよぷよAIとははっきりとした違い)がいきますからね。**添島:** あとは趣味で修了後に作っていいと思う。

### 【山口からのコメント】

添島さんに限らずですが学生の皆さん、研究会・国際会議に投稿するなど頑張ってると思います。本人は10%とっておりますが、ぷよぷよAIの研究は添島さん自身が提案・試行錯誤をしており、価値のある10%と思います。研究はレポートと違い成功への道のりが分かりません。その道のりを山口ではなく添島さんが主体的に提案・試行錯誤したことはすばらしく、ぜひ後輩の皆さんに引き継いでほしい姿勢と思います。修了まで残り半年を切りましたが、ぜひ人類討伐に向けて一緒に頑張りましょう。

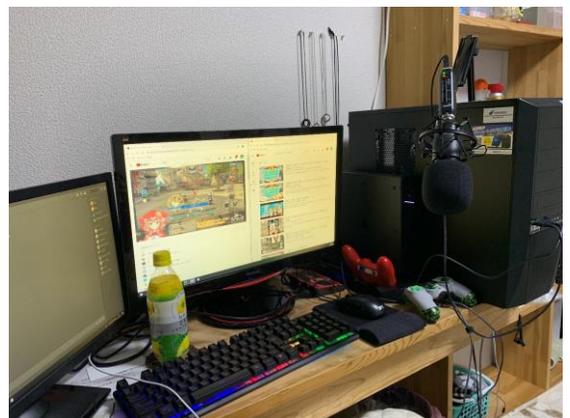
執筆: 山口 暢彦

## 今月のコラム

## 「2020の振り返り」

### 「2020年、コロナ禍。陰キャ大歓喜。」 筆者: 湊田 智彦(奥村研B4)

コロナ禍の影響で、2020年はやりたいことができない人が多数派だったのではないだろうか。さまざまな機関で規制がかかり、楽しみだった旅行、コンサート等がキャンセルになってしまった人も少なくないだろう。しかし、私にとって2020年は大変有意義な年になった。もともとインドア派の私からすると外に出ることができないことはむしろ喜ばしいことであるが、それだけではない。家で過ごす人の増加によって、2020年はインドア向けのコンテンツが充実したのだ。アニメ、マンガなどのサブカルチャー業界はセールを行い、VTuber業界は大盛り上がり。自宅に引きこもる私は、家に居ながらにして盛り上がるサブカルチャー業界を存分に楽しめる幸せな年となった。



## 「2020年、コロナ禍の心残り」

筆者: 徳丸 拓希(山口研B4)

2020年も残り1か月となりましたね. 私はこの機会に今年やり残したことを話そうと思います. 私は大学生になってから毎年, 高校の同級生と小さな旅行を行ってきました. 去年は天草, 一昨年は阿蘇に行き, ドライブしながら多くの観光地を巡ったのは良い思い出です. そして今年友人がいる鹿児島に行こうと話をしていました. しかしご存じの通り, 新型コロナウイルスが流行し, 旅行を断念せざるを得ませんでした. 毎年楽しみにしていたために残念です. このコロナ禍が落ち着いたら来年こそは旅行に行きたいと思っています. おすすめの場所や「ここは外せない!」という観光スポットがあったらぜひ教えてください.



## 「2020年を振り返って」

筆者: 宮川 俊二(福田研B4)

2020年を振り返ってみると, 新型コロナウイルスでできなかったことが多かったなと思いました. みなさんもそうではないでしょうか? 個人的には, 音楽フェスやライブが中止になり行けなかったことが残念でした(写真は過去に参加した音楽フェスでの写真です). 逆に, コロナ禍でおうち時間が増えたことによってゲームをする機会が増えました. 友人に誘われて「Apex Legends」というゲームを始めて, 自分は飽き性なのでどうせすぐ飽きるだろうと思っていたのですが, 今ではハマってついつい明け方までしちゃうことも...(笑). 来年以降もコロナがどうなるかわかりませんが, みなさんもお家でできる趣味などを見つけてみてはいかがでしょうか.



## 第2回スポーツ会

実施日時: 11月4日(水) 15:00-17:00

実施内容: ソフトバレーボール



当日のレクリエーションの様子

第二回スポーツ会(ソフトバレーボール)を開催しました! たくさんのご参加ありがとうございました! 3チームに分かれての総当たり戦を行いました. 長いラリーが続く熱戦の中, 窪園先輩率いるチームが優勝しました. どのチームも先輩後輩問わずコミュニケーションをとる様子がとてもうれしく思いました. 勝ち残りか負け残りかの休憩をかけた争い最高でした. 綾部君のスパイクはイケメンでした(羨ましかった). スポーツ大会は今後も開催します. 今回都合が合わなかった方も是非ご参加ください. また運動以外でも「こんなこともやってみたい!」などがあれば気軽にお声掛けください. 皆さんがより楽しいレクリエーションを行いたいと考えていますので, アンケートのその他の欄でも私に直接でもご連絡をお願いします.

執筆: 古賀 光稀(レクリエーション係)

## はじめての研究

**吉田** 配属になってから実際B3になって研究活動というか方針とかはそれぞれ研究室毎に違うと思うけど、どうでした？授業との兼ね合いというのもあって、いまのB3ほど、その進捗らしい進捗は、特には無かったかな…？

**高柳** 研究っていうのが最初全然わからなかったんですけど、興味があることを先生に相談したら、移動ロボットとかを貸してもらえて、することも先輩に教えていただけだったので、B3の時はそんなに何か困ったりとかはしてなかった気がします。

**村上** 全体ゼミが終わった後に、山口研ゼミがあって、そこで自由に研究室の出入りもしていいよとは言われたんですけど、慣れない所に行くのが苦手なので、全然研究室に行っていなかったです。だから先輩との関わりも今のB3ほどはなかったの、あんまりゼミにも行ってなくて、1月に初めての発表があるという時に、そこで研究テーマを今のテーマに決めた感じなので、B3の活動的にはそれだけです。

**吉田** どうだろうね。研究テーマか…難しい。それこそだって研究テーマ変わる人もいたわけよね、今全然やってること違うとか…



**高柳** 元々、今でも移動ロボットには興味あるんですけど、画像してる人を見て、ちょっと興味が出てきたのもあって、授業で画像処理を受けた時に、面白いなと思ったので、画像はしたいというのを先生に相談し、今の研究テーマの方向になりました。あとから移動ロボットとも融合出来るよみたいな感じだったので…

**吉田** ちょうど落としどころ見つけれられたっていう感じが大きいのか。じゃあ実際、今ってみんな、一人暮らしか実家とか違ったりするけど、B4上がって、コロナ禍なっちゃってっていう時の、距離の大変さとか、それこそ本格始動する時の苦労とかってあった？山口さんどう？

**山口** そうですね、私は実家なので、コロナで研究室来ちゃいけないみたいな感じだったので、なんかそれこそ先輩をあまり頼れないというか…B3時代は全体ゼミを見に行くだけで、その後のゼミとかには参加してなかったの、4年になってからもどういう風に進めればいいのかとかいうのは、難しいところではありました。

**村上** 一人暮らし…私は、研究室が入れなくなる直前に「入れなくなるよ」って聞いてました。でも、HEXA自体が無線環境でしか動かなくて、研究室ではどっちみち使えなかったの、コロナ禍においては出来た方だと思います。ロボット自体も小さいので家に持って帰って、家でひたすら研究するって感じでした。分からないと先輩に聞いて、でも最初にガツリ聞ける感じでもなかったの、親しみのないも。なんか難しくて、どう入っていいかわからないっていうのがあったの、一人自分で調べて一からやるのは大変でした。

**山口** 先輩に頼れば、スタートはきれる…私も自分でやって、エラーが出た時は、ちょっと最初は勇気いったんですけど、先輩に聞いて、教えてもらえるようになってから、進められるようになりました。

**吉田** どんどん頼ってください。もう知ってる苦労もあるし知らなかったら知らなかったで、何か手出せるかもしれないから、あんま抱え込まずにね、頼ってほしいなっていう…

**吉田** 広報誌のね、自己紹介みたいなのがあったよね、B4の紹介とかも。あれ見て、ああゆう研究やってるなって、やっぱ人を覚えるのって研究単位にどうしてもなっちゃうんだよね、お互い。先輩を把握して距離を詰めるまでが大変だった・・・？

**一同** そうですね。

**吉田** 今のうちね、B3とかにも、アピールしていただきたい！一緒にやってく人たちも増えてく中で、当時抱えてた距離感みたいなものっていうのも多分分かると思うから、歩み寄ってやってくださいね。それでもダメならもっと上に投げなさいねとか先生相談しなさいねっていう話ですね。授業と並行しながら研究活動をやっているって実際どうだった？授業とのギャップっていうか。

**高柳** その時まで、先輩と距離が縮まっていかなかったんです。授業は同級生の誰かに聞けばわかるけど、研究は同級生みんなそれぞれやるのが違うから、研究は本当先輩に聞かないとわからない、そこが違うところなのかなと思います。

**村上** B3の授業とかでは、友達や先輩からこういう授業だよって事前に聞くじゃないですか。でも私は、1からの研究だったので、先輩に聞いても「僕もわからない・・・」みたいな感じから始まり、ほんと調べるっていう、自分から動いて、「何が問題なのか」とか”どうやったら解決できるか”とかを自分で考えてやるのが一番大変でした。

**吉田** 自分でやったからこそ、次の研究とかに、また新しくサポートできる人にもなるっていうのはあるよね。強みとして。発表経験ってどうだった？

研究室など、環境が異なる人達で  
意見を出し合う事が出来、いい経験になりました！



福田研M2  
吉田 麗央

山口研B4  
村上 綾

福田研B4  
高柳 美保

奥村研B4  
山口 真琴

## “はじめての研究”B3へアドバイス

**村上** B3の時は、最初先輩方の発表を見て、スライドを作るじゃないですか。だから、発表があるよって言われて、スライドの作り方で、どういう風にしたら、先輩みたいに見やすいスライドが作れるのか最初わからなくて、ひたすら文字並べたりとか・・・そこが試行錯誤という感じでした。

**山口** 文字ばかりじゃダメで、絵や写真も入れなきゃいけないとか言われたのでいろいろ工夫しなきゃみたいな感じはありました。発表は未だにずっと緊張しますけど・・・(笑)研究の内容というよりも、発表をどういう風にしたらいいとかっていうのが大事な気がするんですよね。話す内容をまとめるのが難しいなと思います。

**吉田** 結局伝える人のほとんどが全然知らないわけだから、苦労も何も専門的な知識も各方面偏りがあるからね。だから、多分どうやったらスッと伝わるか、知らない人に伝わるかっていうのを念頭に置く必要があるね。じゃあ、これから研究活動を始めていく3年生に、何でもいいので何か一言頂けないかな。

**村上** 私はB3の時に、ただ全体ゼミを見ていたんですよ。だから、その時から興味を持ったり、この研究面白いなって思うのも大事だと思います。あとそのB3の時って自分の机やPCもないし場所がないから来にくいと思うけど、今の院の先輩たちは、普通に話すだけでもめちゃめちゃ話してくれるから、早めに来て仲良くなるのが一番大事かなと思います。

**吉田** これだけ気使えてるから、そういう歩み寄り方してくれれば、向こうもちゃんと答えてくれるんじゃないかなっていう風には思います。まあ今後ともね、うちらは半年ですけど、これからB3も入って、また賑やかになっていくっていうのも含めて、あともう数カ月利用できる先輩はちゃんと利用して、次に繋ぐための準備をやってもらえればかなという風に思います。

参加者の皆さん、ありがとうございました！



## OB・OGからのメッセージ

坂東 由憲

ばんどう よしのり

2018年度 福田研究室卒業生 <大学院>

### 現在の職種

QA(品質保証部門)

### 現在の業務内容

大規模システム開発/アプリケーション開発において、開発製品の品質を確保・検査業務を実施しています。例えば設計書の記載内容が開発製品を実現するために十分な内容が記載されているか、また完成した製品が仕様通りの動作をするか・不良が残っていないかの最終検査を実施しています。また、AIの品質を確保するための施策・ツールの開発なども実施しています。

### 大学(研究・研究室内の活動)での経験が社会に出て役立ったこと

論文を書く際に、背景、課題、目的、施策、結果、考察、今後の課題を考えるとと思うのですが、この論理的な思考のサイクルを身につけたことは特に役に立ったと思います。特に考察、今後の課題については、弊社の場合、ミスの原因・再発防止策の深堀を徹底するのでこの考え方がないと苦労していたなと思います。

### 大学(研究)と社会人との違いはどんなところですか？

個人的な考えですが、研究と仕事は似ている様な気がします。どちらも成功/失敗に関わらず何が原因でこうなったのか、次はどうすれば良いか、という様にトライアンドエラーの連続だと思えます。不真面目な話になると、金銭面は大きく違います。良くも悪くも自分が個人で使えるお金が増えます。学生の頃は我慢していた物をためらいなくポチる様になりましたね。その分月末のクレジットカードの請求額を見て愕然とする回数も激増しました。

### 研究室のメンバーへメッセージ

福田先生から聞いたことがあるかもしれませんが、かつて私は先生から渡された10万円もする研究で必要な本を1週間でズタズタに切り刻んでしまったことがあります(わざとではないですよ)。今でこそ思い出話として話せていますが、当時はとんでもない失敗をしてしまったと絶望していました。ただ、その失敗を踏まえて福田先生と会話し研究の方針を定め、進めていき、成果もしっかり出すことができました。研究で失敗すること/うまく進まないこともあると思いますが、次どうするかをしっかりと考える、もしくは周りの人と相談して進められれば必ずなんとかなります。コロナの影響で今までになかった形式の研究活動で大変だと思いますが、頑張ってください。

## 編集後記

こんにちは、広報係の山口です。今回は、デザインを冬仕様に変え、前回好評だった「対談企画」を実施しました。背景の写真は、江藤さんの旅先の北海道のニセコでの一枚です。おかげで広報誌の雰囲気もさらに良くなりました。「対談企画」では、初めての研究というテーマでB4で対談しました。また、OBの方からのメッセージも頂いたのでは是非読んでください。来月号もお楽しみに！

お問い合わせはコチラまで

村上 (19704017@edu.cc.saga-u.ac.jp)